



主体的に学び合う柏っ子

～「やる気・根気・勇気(心の苗木)」を自分で育てる柏っ子に～

校長 南館義孝

柏っ子が育てているアサガオは多くのつぼみを付け、ミニトマトは赤い実を实らせ、そしてブドウ棚には、ブドウの房がたくさんついています。また「ヒマワリが私より大きくなっている」とヒマワリの成長に驚いている柏っ子もいます。柏っ子も、この1学期「やる気・根気・勇気」を育ててきました。

1学期を終えるにあたり、保護者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。これから、子どもたちは8月23日(火)までの長い夏休みに入りますが、新型コロナウイルス感染症の基本的な感染対策とともに、熱中症対策もよろしくお願いいたします。

◆ 「主体的に学び合う」柏っ子の育成

本校は、今年度の授業研究のテーマを「主体的に学び合う柏っ子の育成」と設定し、副題を「問いの意識と“わかった”笑顔が生まれる授業づくりの工夫」とし、常日頃、研究しています。1学期は、3つのクラスで授業研究を行い、多くの先生方が参観する中、どのクラスも集中して進んで学習に取り組みました。授業後、全教員でタブレットを利用しながら話し合いをもち、次のようなポイントで、今後も研究していくことを共通理解しました。

○子どもの視点で、「なぜ？」という問いの意識や「やりたい」と思える課題が大切。

○友達の考えに触れて「自分の考えを広げる・深める」ような、教師のかかわりが大切。

○子どもに対し、自分の変容を自覚させることが大切。

ご家庭でも、「あれ?」「なぜ?」「やってみよう」という子どもの課題に寄り添い、その課題への取組みをサポートしながら子どもががんばりを一緒に振り返ってみてはいかがでしょうか。



◆ 幼稚園・保育園・こども園と小学校との連携「相互参観」

本校は、柏崎地区にある6つの園(むつみ保育園・類家保育園・みどり幼稚園・イメルダ幼稚園・聖アンナ幼稚園・八戸幼稚園)と連携し、円滑な接続を図る教育に努めています。今年度1回目の情報交換会を行った際に、ある園長先生から「小学校の学びを、園の指導にも生かしたいので、小学校の授業を参観させてほしい。」という話があり、ある園の先生からは、「われわれの園の様子も見てもらって、小学校の指導に生かしてもらえれば。」という話もありました。そこで、今年度、園と小学校との互いの指導内容等の理解を深めるため、「相互参観」を実施することとなりました。6月30日(参観日)、園の先生方に来校いただき、1年生の「1人1台端末の使い方」の授業を見ていただきました。秋には、本校の教員が園に出かけ、子どもの姿や指導等を見取り、小学校での学びをより充実させたいと考えています。